

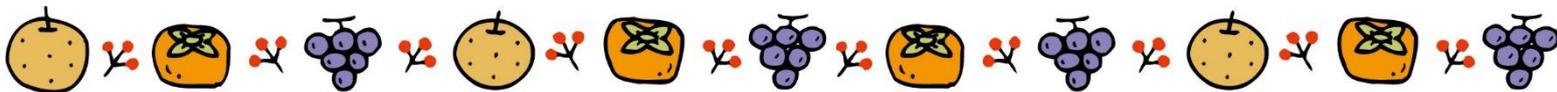
10月

うさぎ組



ぽっかぽか

先日まではまだまだ暑く、外遊びの後は汗をかいてシャワーをしていましたが、少しずつ朝晩に涼しい風が吹き、夕方は秋の虫の音が聞こえ、秋を感じるようになってきました。昼夜の寒暖の差が大きい季節でもありますので、健康面では気を付けていきます。



♪お友だちと一緒に遊ぶと楽しい♪

夏前から、戸外で「しっぽ取り」や「かくれんぼ」を保育者や友達と遊ぶ中で、少人数で遊ぶ事が楽しくなってきたうさぎ組さん。

プールでも、「水、掛けていい?」「一緒にワニさんしようよ」など友達を誘ったり、相手の気持ちを聞いて遊びを進めていく姿が見られていました。

まだまだ、一人でじっくり遊ぶパズルや型はめや紐通しなども好んで遊んでいます、「友だちと一緒に!」が楽しいと感じるようになったのなら!と、「室内でもルールのある遊びを提供してみよう!」という事になりました。そして、選んだものは比較的簡単な「かたつむり」や「果樹園」というサイコロを使ったボードゲームと、様々な絵が描いてある木のカードやくまの形をした「メモリーカード」。

まずは、保育者がルールを説明します。

① 遊び方の説明 ② 順番は時計回り ③ 友達の順番の時は手を出さずに待つ



そこまで伝えたら、一番にサイコロを振る人やカードをめくる人をわらべうたで決めます。

その後は、実際に遊びながら、再度やり方を伝えていく事、繰り返し行う事で、細かいルールも徐々に理解していました。慣れてくると「次は〇〇ちゃんね」「サイコロ振ってね」「待っていようね」と子どもたちからも声が出てきました。

遊ぶ中で、順番を守る事や待つ事の大切さを感じたようです。

そして、相手の気持ちに寄り添う言葉も増えているように感じています。

ルールが分からなくても、周りの友だちが「次は〇〇ちゃんだよ」「サイコロどうぞ」など優しく声を掛けています。

他の遊びをする時にも、「これやらない?」「あとでやろうね」「入れて」「いいよ」など言葉でのやり取りが増え、嫌なことも「やめて」「今これしてるから出来ないの」と個々の言葉で頑張る姿が見られます。

ルールのある遊びを通して、様々なことを学んでいる子どもたち。

まだまだ意見が食い違ったり、「自分が!」と争いになる事もありますが、保育者が仲介するとじっと聞いて、待って、理解して仲直りしています。

一人一人のやりたい気持ちを大切にしながら、友だちとの関わりが更に楽しい物となるように、これからも支援し見守っていきます。

